

2020年8月27日 第4回 webinar 連続講座「包括的な職場と社会を目指して:女性のキャリア形成について」

GIL 実施責任者で国際経営学部学部長である大竹教授が司会を務め、H. U. グループホールディングス株式会社執行役で元ソニー株式会社執行役員村上敦子氏をゲストに迎えて開催しました。

これまで積み上げてこられたキャリアとその経験を女性をとりまく社会・職場環境の変化にも触れながら述べるとともに、村上氏は With/After コロナの職場環境・女性のキャリア形成について言及しました。

最初の仕事である国内の信託銀行では、男女の扱いは別が普通であり、差が顕著であったため、疑問が強く残った体験を語りました。

心がけてきたこととして、財務関連の仕事の続け、具体的なキャリア計画を中長期視点で立て、そしてキャリアの希望を周囲に伝えるよう努力したと述べました。

ジェンダーギャップにも触れ、日本だけでなく欧米も、女性の自己評価が低く自信がない傾向が強いと語りました。女性の活躍は、男女平等や人権といった社会的な面だけでなく企業実績、企業価値上昇にプラスになることを理解し、資本市場の注目となるなど女性活躍の後押ししていることから重要であると述べました。After コロナではジョブ型雇用が増えており、キャリア形成の重要性が高まるとの見解を伝えました。

これまで以上に女性の活躍に追い風が吹いている状況で、さらにリモートワークにより女性の不利な状況が減少していく中では、得意分野を磨きながら守備範囲を広げ、恐れることなくチャレンジしていくよう促し、締め括りました。